

令和5年度を振り返って

一般社団法人岩手県障がい者スポーツ協会 会長 平藤 淳



新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行し、これまでの制限が緩和された令和5年度の各種事業も、多くの参加者と、運営・支援して下さる皆さまのご協力を得て、充実した内容で実施されました。皆さんがスポーツをする姿を見て、うれしく、そして頼もしく感じています。

私は、これまで、障がいのないアスリートの競技力向上を中心にスポーツに関わってきました。そして、障がいのある方々やその団体などに関係したことがほとんどなく、障がい者スポーツに触れることもありませんでした。昨年6月に会長に就任した際には、経験がなくて不安だったことも事実です。しかし、その分、障がい者スポーツの「当たり前」の視点から離れて、様々なことから「なぜだろう」「なんだろう」と見るのができたように感じています。

これまで、私は、障がい者スポーツには、用具や人手が必要だという先入観を持っていました。車いすやチェアスキー、義肢などの用具や、介助したり教えてくれたりする人がいなければ、障がい者スポーツは成り立たないという先入観です。これは、障がい者スポーツに触れたことのない多くの人が持っている先入観だと思います。

しかし、3月のスキー交流会で、チェアスキーを使って滑るスキーヤーの介助をしながら最終日を終え、ほっとしてスキー靴を脱いだ時に気がついたことがあったのです。

私は、プラスチック製の硬い靴と長くて重いスキーを使わなければ、雪の斜面を移動できません。つまり、私もチェアスキーのスキーヤーも、用具を使って雪の斜面を滑り降りるということに関しては、なんの変わりもないのです。考えてみれば、大谷翔平選手もバットを持たなければ、打席では三振かフォアボールしかありません。そういえば、私も教えてもらって、手伝ってもらってスキーが1人でできるようになったのです。スキー交流会には、1人でリフトに乗って、誰の援助もなしに上手に滑るチェアスキースキーヤーも参加していました。その人だって、はじめは指導者と介助者と一緒にスキーを始めたにちがいません。

用具や人手は、障がいのあるなしに関わらず、技術を高めるためにすべての人が共通して必要とするもので、障がい者スポーツに特に必要なものという私の先入観は、間違いだったことに気づいたのです。

令和5年度の事業を経験して、全ての人がスポーツを通じてそれぞれの先入観から解放されてゆくことが、当協会の運営方針の一つに掲げる「インクルーシブスポーツを活用した社会課題へのアプローチ及び共生社会づくり」につながってゆくことと確信しています。令和6年度も、障がいのある人もない人も、ともに理解しあいながら楽しくスポーツをしていきたいと考えていますので、よろしく願いいたします。

CONTENTS



■特集記事

P1 / 令和5年度を振り返って (当協会 平藤 淳 会長)

P2 / 2023Bチャレンジ事業

■事業報告 (R5前期: 4月~9月)

P4 / 希望郷いわてオープン・県スポボッチャ競技 他

P5 / 第25回県スポ・グラウンドゴルフ交流大会 他

P6 / ふれあいFD交流大会・初級パラスポーツ指導員講習 他

P7 / 第7回岩手県UV麻雀大会・登山教室 他

P8 / マリンスポーツ体験・JR東日本盛岡支社ボッチャ大会 他

P9 / 第5回あまちゃんカップ・パラスポーツ体験事業 他

P10 / グラウンドゴルフ花巻大会・宮古老老ゲートボール大会 他

P11 / 第4回岩手県パラ陸寿記録会・会員紹介 他

ホームページについて

開催要項、申込書データのダウンロードや詳細情報は当協会のホームページよりご覧ください。

URL → <https://www.iwate-adaptive.or.jp/>



お問合せ先：一般社団法人岩手県障がい者スポーツ協会
岩手県障がい者スポーツ指導者協議会

TEL 019-637-5055 / FAX 019-637-7626

E-mail : info@iwate-adaptive.or.jp

本県初開催！2023年Bチャレンジ事業

令和5年4月1日(土)～2日(日) @ ふれあいランド岩手

Bチャレンジ事業とは

簡単にBチャレンジ事業について紹介いたします。

2020 東京パラリンピックを契機に選手育成やさらなるポッチャの普及を目指して【強化】【人材育成】【地域連携】【社会連携】の4つを目的として、全国の7地区において実施する事業です。

本県は7地区のうち、北海道・東北ブロックに属し、今回のBチャレンジ事業は初めての開催となりました。主催は日本ポッチャ協会各地区的ポッチャ協会が協力団体として運営協力を行います。本県には正式なポッチャ協会がないため、当協会がその役割を担いました。

事業内容は、「サポーター」「D級審判」「B級コーチ」「クラス分け員」「トレーナー」など日本ポッチャ協会公認資格の取得講習が中心となります。

また、「アスリートチャレンジ」として選手育成・強化事業も行われ、この講習会に参加した選手たちによる模擬試合が審判講習会等の実技として行われます。



▲①全体あいさつ。②アスリートチャレンジ講習会の様子。この後、選手たちのクラス分けや試合と資格取得講習がセットで行われる。

ブロック	内容	開催地
北海道・東北	期日：4/1(土)～2(日) 会場：ふれあいランド岩手	岩手県
北信越	期日：4/1(土)～3(日) 会場：サンアップル	長野県
関東	期日：3/4(土)～5(日) 会場：日本財団パラアリーナ	東京都
東海	期日：4/8(土)～9(日) 会場：中央大学豊田キャンパス	愛知県
近畿	期日：2/25(土)～26(日) 会場：舞洲障がい者スポーツセンター	大阪府
中四国	期日：4/8(土)～9(日) 会場：広島市心身障害者福祉センター	広島県
九州	期日：3/4(土)～5(日) 会場：SAGAパラスポーツセンター	佐賀県

▲2023年Bチャレンジ事業開催日程

日程	審判	クラス分け	コーチ	トレーナー	選手
1日目					
9:30					受付
10:00	サポーター講習	サポーター講習	サポーター講習	サポーター講習	技術練習
11:00					昼食
12:00					
13:00	審判講習	クラス分け講習	B級コーチ講習	トレーナー講習	トレーニング
14:00	講義	講義	講義・演習		作成
15:00					
16:00					
17:00					
2日目					
9:30					受付
10:00	審判講習	選手観察			クラス別個人
11:00	実技	グループワーク			戦
12:00					昼食
13:00					
14:00	審判講習	クラス分け講習			クラス別個人
15:00	実技	選手観察			戦
16:00		グループワーク			

▲2日間の講習カリキュラム

各講習会について



本事業で実施する講習会について紹介いたします。資格取得講習については何れも日本ポッチャ協会の公認資格となります。

(1) サポーター養成講習会(定員50名)

【日時】

4月1日10:00～12:00

【対象者】

- ①ポッチャに興味のある方
- ②地域におけるポッチャ普及に貢献できる方

【内容】

公認資格の第1歩となります。この資格を取得することでD級審判やB級コーチ等にステップアップ可能です。

本事業の最初にカリキュラムが組まれており、全く公認資格のない方が2日間で上位資格を取得できることも本事業の魅力です。

※ただし、どの資格にも共通しますが、公認資格は、ポッチャ協会に登録すること(会費を払うこと)が必須。

(2) D級審判員養成講習会(定員16名)

【日時】4月1日13:00～17:00

4月2日10:00～16:00

【対象者】

- ①サポーター資格を有する者(※)
※資格のない方は本事業の初日午前中に取得可能
 - ②2023年4月1日現在、18歳以上の者。
 - ③受講後、日本ポッチャ協会に会員登録をし、全国障害者スポーツ大会や地区予選会、地域の大会に公認審判員として継続的に活動する意志のある者。
 - ④障がいの有無は問わないが、選手とのコミュニケーションが取れ、違反球の除去や計測は自身で正確かつ迅速に行えること。
- ※今回、本県より2名のD級審判員が誕生しました！

(3) B級コーチ指導者養成講習会 (定員 20 名)

【日 時】

4月1日 13:00~17:00

【対象者】

- ①サポーター資格取得者
- ②受講後、日本ボッチャ協会に指導者登録する者。

(4) クラス分け員養成講習会 (定員 10 名)

【日 時】

4月1日 13:00~17:00

4月2日 10:00~16:00

【対象者】

- ①サポーター資格取得者
- ②医師・理学療法士・作業療法士免許を有する者。
- ③②以外で協会(※)役員または協会登録団体代表者からの推薦を受けた者で、②と同等のものとクラス分け委員会が判断した者。※日本ボッチャ協会
- ④受講後、日本ボッチャ協会にクラス分け員として会員登録を行い、クラス分け業務に従事できる者。

【重 要】

資格取得のためには、第 25 回日本ボッチャ選手権大会の東西予選会での競技視察とディスカッション、筆記試験によって合格点に達する必要があります。

(5) トレーナー講習会 (定員 10 名)

【日 時】 4月1日 13:00~17:00

【対象者】

- ①サポーター資格取得者
- ②理学療法士・作業療法士・柔道整復師など医療資格やまたはそれに準ずる資格の所持者が望ましい。



(6) アスリートチャレンジ (定員 20 名)

【日 時】

4月1日 10:00~17:00

4月2日 10:00~16:00

【対象者】

第 24 回日本ボッチャ選手権大会出場選手、2023 年強化指定選考会参加選手を除いた BC クラス選手としてパラリンピック競技大会の出場を目指す選手

【クラス分けについて】

本事業では第 25 回日本選手権大会に参加する新規選手のクラス分けを実施します。

本事業のメリット

本事業を開催には以下のメリットがあります。

「日本ボッチャ協会・Bチャレンジ事業説明会資料より」

- 1, 審判、指導者、クラス分け知見の提供
- 2, 国際情報の共有
- 3, 事業予算は日本協会負担 (2025年まで)
- 4, 選手の大会参加機会の創出
- 5, 選手のブロック合宿の実施
- 6, 選手の大会参加の金銭的な負担減
- 7, 会場の確保サポート
- 8, D級審判員の資格取得
- 9, コーチB資格取得
- 10, 選手クラス分けの実施
- 11, クラス分け委員資格取得
- 12, 地域大会運営の共有

そして今回、岩手県でも 2 名の D 級審判員が誕生しました！

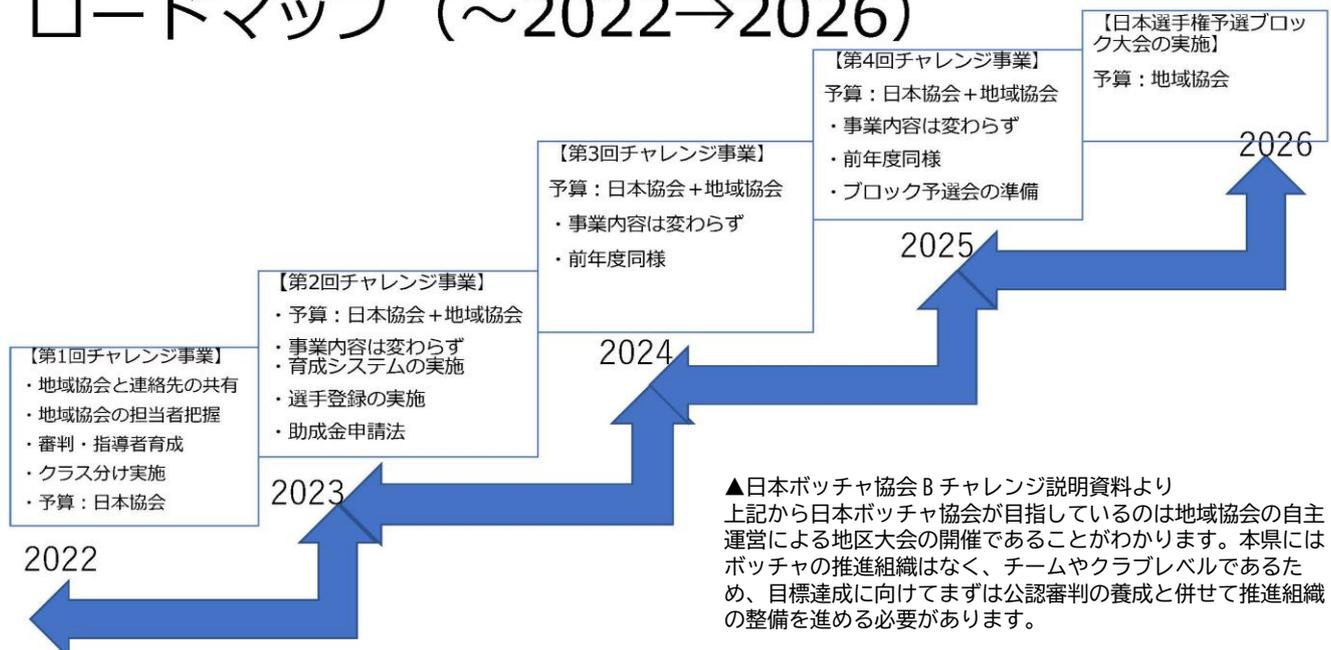


晴山 祐太さん (滝沢市)



菅原 修さん (一関市)

ロードマップ (～2022→2026)



希望郷いわてオープン 2023 卓球バレー交流大会を開催

◆期日：令和5年4月23日（日）

◆会場：ふれあいランド岩手（盛岡市）

◆レポート：本大会は日本卓球バレー連盟東ブロックの公認大会として開催。公認大会では県外チームの参加や2級以上の上級審判資格を取得できます。今回はアスレクトチームの選手が2級審判にチャレンジして見事合格となりました。チーム帯同審判により審判員不足を解消したいと思います。

さて、今回はチャレンジクラスに10チーム、わんこ&体験クラスに4チームの合計14チームが参加しましたがまだまだコロナの影響があるようです。チャレンジクラスは午前中に予選リーグ、午後は上位2チームによる決勝トーナメントを行いました。優勝はフルセットの接戦を制したアスレクトAチームでした。久しぶりに出場した宮古市身障福祉会がアスレクトBチームとの大接戦の末、退け3位となるなど大健闘しました。



第25回岩手県障がい者スポーツ大会ポッチャ競技大会を開催！

◆期日：令和5年5月14日（日） ◆会場：ふれあいランド岩手（盛岡市）

◆レポート：県の障がい者スポーツ大会でポッチャ競技が採用されて3度目の開催となりました。今回は4月に行われた日本ポッチャ協会主催の2023Bチャレンジ事業においてD級審判を取得した2名の審判員のデビュー戦となります。これまでは緩めのルールで大会を行っていましたが、全国障害者スポーツ大会競技規則に準ずる大会として実施しました。タイムキーパー含め、不慣れな部分もありましたが、無事に大会を運営することができました。さて、大会には座位クラス7名、立位クラス9名、オープンクラス3名の19名が参加してそれぞれ予選リーグを行いました。座位クラス決勝は4名によるトーナメント。立位クラスは3名による総当たり戦。オープンクラスは交流戦を行いました。選手の引率や保護者など応援も多数かけつけていただき、試合は大いに盛り上がりました。結果は以下のとおりです。

☆座位クラス：第1位／附田 昊 第2位／遠藤 豊 第3位／大矢 康生

☆立位クラス：第1位／山本 優斗 第2位／小野 正嗣 第3位／今野 辰久

☆オープンクラス：第1位／三浦 梨央 第2位／藤村 みのり



グラウンドゴルフ奥州交流大会を開催！

◆期日：令和5年5月17日（水）

◆会場：江刺カルチャパーク（奥州市）

◆レポート：今年度のグラウンドゴルフ交流大会もこの奥州大会からスタートしました。当日は素晴らしい天気の下に約40名が参加してプレーを楽しみました。競技は男女別に2ラウンド（16ホール）の合計スコアで競いました。結果は以下のとおりです。



☆男性部門：第1位（33点）神尾 誠／第2位（42点）佐藤 栄吉／第3位（42点）鈴木 次三

☆女性部門：第1位（40点）家子 松子／第2位（43点）菊池 次子／第3位（43点）高橋 静子

☆団体部門：第1位（218点）江刺／第2位（226点）一関B／第3位（238点）一関A

第25回岩手県障がい者スポーツ大会を開催！

◆期日：令和5年6月3日（土）◆会場：純情産地いわてトラフィール 他

◆レポート：本大会は例年6月第1週土曜日に開催しています。競技はポッチャ競技を除く6競技が3つの会場に分かれて実施しています。参加選手数が828名と例年の6割程度となっており、コロナ過による影響がいまだに続いています。しかしながら参加に前向きな団体や事業所も増えているようなので徐々に元の規模に戻ってくれると期待しています。

本大会は5月8日に感染症法上の位置づけが5類に変更となって初めての大会となりました。本大会実行委員会では基本的な感染症対策は継続し、マスク着用を推奨する形で通知しております。ただし、事前の体調チェックや応援時の制限などはしないこととしました。まだまだすっきりしない中での開催となりました。

さて、今年も全国障害者スポーツ大会が開催されます。燃ゆる感動かごしま大会への出場を目指す選手にとっては本大会でも活躍が重要な選考材料となります。また、1年に1度の大会を楽しみたいという選手もたくさんおります。引き続き本大会を通してスポーツが気軽に楽しめる環境づくりに取り組んでいきたいと思っております。

なお、陸上競技場の愛称が「純情産地いわてトラフィール」となりました。今回はJAいわて様よりニッポンエールの岩手県産ご当地グミを全選手・役員に寄贈いただきました。毎度、本大会の運営を支えている競技団体、関係団体やボランティアの皆様、協賛いただきました企業・団体の皆様にあらためて感謝を申し上げます。



グラウンドゴルフ一関交流大会を開催！

◆期日：令和5年6月8日（木）

◆会場：一関市サッカー・ラグビー場（一関市）

◆レポート：本年度2回目のグラウンドゴルフ交流大会を開催しました。この会場の特徴は人工芝のため好スコアが出やすく、車いす参加者はプレーしやすい特徴があります。今回も約50名が参加して競技を楽しみました。一関市グラウンドゴルフ協会の中田会長によるとゲートボールだけではなくグラウンドゴルフも会員数が減少しているとのこと。今後はさらに連携しながら障がいの有無に関わらず参加できる大会を増やしていくことも必要になると思います。競技は今回も2ラウンドで実施しました。結果は以下のとおり。



☆男性部門：第1位（38点）阿部 賢治／第2位（40点）神尾 誠／第3位（41点）皆川 富雄

☆女性部門：第1位（41点）菊池 次子／第2位（42点）小野 アヤ子／第3位（44点）伊藤 三智子

☆団体部門：第1位（217点）いちのせきC／第2位（223点）いちのせきA／第3位（231点）いちのせきB

【初優勝おめでとう！】いわてスマイリーズ

北海道・東北ブロック予選会
（ソフトボール競技）

◆期日：令和5年6月25日（日）◆会場：石鳥谷ふれあい運動公園（花巻市）

◆レポート：この大会は特別全国障害者スポーツ大会・燃ゆる感動かごしま大会の出場権を争う大会です。団体競技は全国を6ブロックに分け、予選会を行い優勝チームが出場権を獲得します。出場は札幌市、青森県、岩手県、宮城県の4チームです。この中で力が抜きこんでいるのは宮城県でほぼすべての大会に出場していました。

岩手県チームは初戦、青森県チームと対戦しました。2回までに7点をリードしましたが青森チームの最後まであきらめないプレーにやや押され気味となり、最後は辛くも逃げ切る形で勝利しました。決勝はこれまで何度も跳ね返されてきた宮城県。序盤から一進一退の攻防が続き、延長タイブレークへともつれ込みました。延長初回に藤井康輔選手の三塁打で勝ち越し逃げ切り勝利。地元開催枠だった2016希望郷いわて大会を除くと予選会を突破しての出場は初めてとなります。なお、岩手県チームの愛称は『いわてスマイリーズ』です。皆さんも全国での活躍を期待しましょう。「いわてスマイリーズ」の応援よろしくお願いたします！



ふれあいフライングディスク交流大会2023を開催！

- ◆期日：令和5年7月8日（土）◆会場：ふれあいランド岩手・陸上競技場（盛岡市）
- ◆レポート：7月初旬というのに猛暑の続く中でしたが、この日は久しぶりに涼しい1日となりました。今年の交流大会は久しぶりにディスタンスも実施することになりました。しかし、いつ雨が降ってくるかわからない不安定な天気でしたので、各種目の選手待機&競技実施場所には大きめのレンタルテントを設置しました。また、午前のアキュラシーと午後のディスタンスではテント位置を変更するため、昼時間を利用してテント移動を行いました。これである程度の雨対策ができることが確認できました。さて、参加選手は200名弱とピーク時の7割程度です。まだまだ事業所単位での申込が少ない状況です。選手の皆さんは競技とともに応援やボランティアをはじめとする多くの参加者との交流を楽しんでおりました。開催にあたりご協力いただいた岩手県障がい者フライングディスク協会をはじめとする関係者の皆さま方に感謝を申し上げます。



【県央地区】初級パラスポーツ指導員養成講習会を開催！

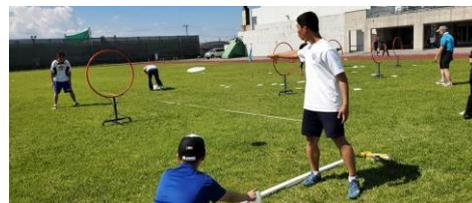
- ◆期日：令和5年7月15日（土）～17日（月）
- ◆会場：ふれあいランド岩手（盛岡市）
- ◆レポート：今年より「障がい者スポーツ指導員」の呼称が「パラスポーツ指導員」に代わり講習会の名称も変更になりました。本県では県委託事業として初級講習会を県央・沿岸地区にて2回実施。また毎年、中級講習会を実施しています。この他にも理学療法士を対象とした中級講習会を実施しています。

さて、今年の初級講習会ですが受講者が5名と過去最低数を更新してしまいました。この時期、スポーツイベントの真っ盛りな時期だけに3日間連続でも日程を確保することが難しい方が多いのかもしれませんが、いずれ講習会としては少し寂しい感じがしましたが、その分、当協会の平藤会長に受講していただいたので10人分ぐらいの存在感はあったかと思います！講習内容はJPSAの基準カリキュラムに基づき21時間の科目を行います。障がいへの基礎知識や障がい者スポーツの歴史・方向性・指導者としての留意事項など大変濃い内容となっています。受講者の皆さんはそれぞれの講師陣のお話しに目を輝かせながら向き合っておりました。受講者の皆さん大変お疲れさまでした！



第1回派遣選手強化練習会を開催！

- ◆期日：令和5年7月22日（土） **特別全国障害者スポーツ大会**
- ◆会場：ふれあいランド岩手（盛岡市） **燃ゆる感動がごしま大会**
- ◆レポート：特別全国障害者スポーツ大会（愛称：燃ゆる感動がごしま大会）に派遣する個人競技28名を対象とした強化練習を実施しました。がごしま大会は本来2020年に開催予定でしたが、コロナ過により本年に延期という特例大会となりました。大会の回数はすでに数年後まで決まっているのが国体や全国障害者スポーツ大会です。そのため今回は大会名の前に回数は入れずに「特別」をつけることとなりました。さて、1回目の強化練習は毎年7月のこの時期に開催しています。最初はオリエンテーションとして各競技の選手・役員との紹介と大会の概要説明を行っています。その後、午後からは各競技において練習会を開催しました。選手の皆さんは最初、緊張の面持ちでしたが、練習になると和やかな雰囲気の中で笑顔の中、いい汗をかいていたようです。2回目の強化練習は9月に合宿形式で行います。選手・役員の皆さんお疲れさまでした！



第2回卓球バレー指導者養成講習会を開催！

◆期日：令和5年7月23日（日）
 ◆会場：大川目市民センター（久慈市）
 ◆レポート：今年度2回目の講習となります。会場は久慈市大川目市民センターです。久慈市の中でも大川目地区は卓球バレーに積極的に取り組んでいる地域で以前は地域大会が開催されています。今回、地元の方を含め5名の受講者と練習希望の方などあわせて合計25名ほどの参加がありました。開催にあたり、久慈地域卓球バレー協会の新里さんと類家さんにご協力をいただきました。今年のおまちゃんカップは8月27日に開催されます。このような講習会や体験会を通して卓球バレーが楽しむ方が久慈の全地域に広がるよう取り組んでいきたいと思っております。



第7回岩手県ユニバーサル麻雀交流大会を開催！



◆期日：令和5年7月30日（日）◆会場：ふれあいランド岩手（盛岡市）
 ◆レポート：今年度1回目のeスポーツ事業であるユニバーサル麻雀交流大会を開催しました。15歳から73歳まで幅広い年代のプレイヤー24名が集い、オンライン上の熱い戦いが繰り広げられました。ハイレベルな戦いとなり、午前中の予選から目まぐるしく順位が変わる状況でした。こんな中、安定した戦いを見せたのが初代優勝者である「捲りの新田」さんです。午後の準決勝、決勝を勝ち抜き、見事に2度の制覇となりました。おめでとうございます！

【八幡平へGO】今年も行ってきました！



◆期日：令和5年8月5日（土）◆会場：八幡平レストハウス（八幡平市）
 ◆レポート：今年も八幡平に行ってまいりました。ここ数年、天気にも恵まれず雨降りの中の登山でしたが今回は何とか行きました。さて、参加者は24名でした。車いすグループ3組と歩行グループ1組の合計4組に分かれ、各グループには岩手県山岳・スポーツクライミング協会の皆さんに山岳ガイドを務めていただき登山開始となりました。途中途中のビュースポットでは山岳ガイドの皆さんから説明と楽しいお話しで盛り上げていただきました。参加者の皆さんもたっぴりマイナスイオンを浴びてリフレッシュできた1日になったと思います。とりあえずはクマが出てこなくてよかったです！参加していただいた皆様、ありがとうございました！

第3回卓球バレー指導者養成講習会を開催！

- ◆期日：令和5年8月6日（日）
- ◆会場：岩手大学学生センター（盛岡市）
- ◆レポート：今回は岩手大学卓球部とコラボ開催となりました。同卓球部が卓球バレーに取り組んでいることは知りませんでした。大学でも地域交流の一環として卓球バレーに取り組んでおりますので、今後も連携を図りながらスポーツ参加環境整備に取り組んでいきたいと思っております。岩手大学卓球部の田浦部長はじめ部員の皆さまに感謝を申し上げます。



岩手大学卓球部との連携事業として実施！



マリンスポーツ体験教室を開催しました！

- ◆期日：令和5年8月19日（土） ◆会場：リアスハーバー宮古（宮古市）
- ◆レポート：当日は天候に恵まれ絶好のマリンスポーツ日和となりました。とても人気のある事業でここ数年は参加者が増えています。プログラムはシーカヤック体験とボートクルージングの2つです。シーカヤックは一人乗り用と二人乗り用があるため、障がい種類や経験値により選択の幅があります。また使用するカヤックも初心者用のファンカヤックを使用するため、ほとんどの方が一人乗りで楽しむことができます。今回の参加は40名ほどで人数が多いため、2つのグループに分けてそれぞれでプログラムを楽しみました。



JR 東日本盛岡支社 共生社会に向けた勉強会&盛岡支社ポッチャ大会に参加！

期日：令和5年8月21日（月） / 会場：JR 東日本盛岡支社ビル



JR 東日本盛岡支社では、本研修会はこれまでに4回開催しており、2020年度からはパラリンピック関係者による講演会とポッチャの大会を実施しているそうです。このような取組みを企業に参加する機会がなかったので、今回の企画を意義があるものにしたいと思っておりました。また同担当者より、県内のポッチャ強豪選手に大会参加いただきたいというリクエストを受けました。そこで、こちらからは本年度の県強化指定選手の遠藤 豊選手、昨年のいちご一会とちぎ大会代表の菅原芳輝選手、今年の燃ゆる感動かごしま大会代表の根澤奨磨選手の3名で大会に臨むこととなりました。

ポッチャ大会には事前段階で36チーム、108名の申込があったとのことに関心の高さが感じられました。当日は、第1部の共生社会に向けた勉強会で「インクルーシブスポーツを通じた共生社会推進」という演題でお話する機会をいただきました。そして第2部はいよいよポッチャ大会です。当協会チームは、超特別シードにより、いきなり決勝リーグから参加することとなりました。決勝リーグは4チームによる総当たり戦です。初戦がいきなり盛車セ第2代表（盛岡車両センター）。このチームは東京カップにも出場経験があるという強豪チームです。当協会チームの選手たちがド緊張しており、コントロールがままならずあえなく0対5で敗戦。あの遠藤選手ですらミスショットがあり、そこに見事にボールを寄せられ完敗でした。多くの社員がパラのポッチャ選手はどんなプレーをするのか注目されているので緊張は仕方ないのですが、残り試合が不安になりました。2回戦も苦戦のスタート。しかし、ここで根澤選手が局面を打開するスーパーショットを放ちます。まぐれじゃないかと思うぐらいのショットです。本人は狙っていたようです（失礼しましたm(_ _)m）。これで流れが変わり3対0で勝利。この勢いのまま3回戦も勝利し、2勝1敗で3チームが並びました。優勝は得失点差により盛車セ第2代表で当協会チームは2位となり、何とか面目を保ちました。

また、会場には卓球バレーの体験ブースも設置させていただきました。試合の合間に皆さん楽しんでおられました。こちらもかなり盛り上がっていました。このような貴重な機会をいただきました JR 東日本盛岡支社様に心より感謝を申し上げます。今後とも様々な場面で連携協力できる関係を築いていけたらと思います。



第5回あまちゃんカップ(卓球バレー久慈交流大会 2023)を開催!



◆期日：令和5年8月27日(日) ◆会場：久慈市民体育館(久慈市)

◆レポート：2018年にスタートしたあまちゃんカップは、当時、久慈地域の卓球バレーを通じたスポーツ参加環境整備と地域活性化への期待を集めるとともにJICAの『スポーツを通じた障害者の社会参加促進』をテーマにした課題別研修の集大成プログラムと位置付けられました。これにより、発展途上国と言われる中東及び東南アジア・アフリカ等から各国の障がい者スポーツ振興のリーダーたちが久慈市にやってくることになりました。地元、久慈では国際交流の素晴らしい機会であるとして大歓迎ムードとなりました。そして、翌2019年も同様の取組みを実施したことが評価され地域活性化につながる斬新な事業として中心的な役割を担った久慈地域卓球バレー協会が文部科学大臣表彰を受けております。

コロナ過によりJICA研修生は2019年以来、久しぶりの参加となりました。今回は9か国9名の研修生が参加しました。大会前日には恒例となっているJICA研修生をお招きしての歓迎レセプションも開催しました。今回も久慈中学校マンドリン部の皆さんのオープニングアトラクションでスタートし、楽しい交流会となりました。

さて、今回の参加チームはJICAの2チームを加えても11チームとピーク時の半分ほど。試合に目を向けると競技性を重視するクラス「あまちゃんクラス」には、全国大会2位の実績のあるアスリートチームが圧倒的な力を示し優勝しました。交流クラスである「琥珀クラス」ではJICAチームが大健闘。見事優勝を飾りました。なお、今回、久慈ライオンズクラブ様からの寄贈により琥珀クラスにおいても優勝カップが授与されることになりました。

大会運営には久慈市教育委員会、地域福祉課をはじめ各関係機関・団体より、多くのスタッフを派遣いただきました。おかげさまで久しぶりの国際交流となった大会も無事に終了することができました。あらためて感謝を申し上げます。

【北上青年会議所とのコラボ事業】パラスポーツ体験イベントを開催!



◆期日：令和5年9月2日(土)～3日(日) ◆会場：北上総合体育館(北上市)

◆レポート：昨年に引き続き、北上青年会議所とのコラボ事業として実施することになりました。当協会が実施する事業の目的の1つに地域におけるスポーツ参加の拠点づくりがあります。当協会と地域の関係団体が協働で事業を実施して様々なノウハウを共有しながら最終的には地域が主体となり事業展開することを目指しています。

さて、パラスポーツ体験ブースは2日間担当しました。実施種目は卓球バレー、ボッチャ、車いすバスケットボール、フライングディスクの4種目でした。各ブースとの人が途切れることなく大盛況でした。特に卓球バレー体験ブースは卓球バレーの選手が指導を担当する場面もありました。障がい当事者も運営の主体側に立つことにより、本人の達成感も大きくなるようです。この経験が当事者団体の活性化にもつながると期待しています。

【一関市&気仙沼市障害者スポーツ協会交流事業】第6回卓球バレー交流大会を開催!



◆期日：令和5年9月10日(日) ◆会場：本吉保健福祉センター・いこい(気仙沼市)

◆レポート：障がい者スポーツ協会は、各市町村単位で設立している例は極めて少ないのが現状です。東北では一関市と気仙沼市の2団体以外の情報は聞いたことがありません。また一関市と気仙沼市は県境を挟みお隣同士ということで2017年にこの交流事業が始まりました。午前中は4チーム×2組に分かれて総当たり戦を行いました。午後は各組の同順位で対戦して順位決定をしました。優勝は気仙沼A、2位が気仙沼B、3位が名取市卓球バレー愛好会と上位はすべて宮城県所属チームとなりました。なお岩手・宮城の他県の審判との技術交流も行われる貴重な機会となっております。

グラウンドゴルフ花巻交流大会を開催！

◆期日：令和5年9月12日（火）◆会場：日居城野運動公園（花巻市）
 ◆レポート：ようやく猛暑もひと段落し、秋のスポーツの季節到来です。今年度3回目となるグラウンドゴルフ交流大会が、花巻の日居城野運動公園にて開催されました。花巻市グラウンドゴルフ協会の開催協力のもとに県内各地よりおよそ50名が集い、8ホール×2コースの合計16ホールの合計スコアを個人戦と団体戦で競いました。コースとなる日居城野運動公園は以前、ゴルフ場だったため、両側が林に囲まれた美しいコースです。芝生の状態は良いものの微妙な傾斜や凹凸があり、やや難易度の高いのが特徴です。天気にも恵まれ皆さんプレーを楽しんでおりました。結果は以下のとおりです。

☆男性部門：第1位（40点）伊藤 茂／第2位（41点）小原 直幸／第3位（45点）上森合 正直
 ☆女性部門：第1位（47点）富松 ハヤ／第2位（48点）菊池 次子／第3位（50点）柳澤 キ工
 ☆団体部門：第1位（195点）いちのせきB／第2位（196点）いちのせきC／第3位（198点）雫石・石鳥谷



宮古田老ゲートボール交流大会を開催！

◆期日：令和5年9月13日（水）～14日（木）◆会場：グリーンピア三陸みやこ（宮古市）
 ◆レポート：当協会がゲートボール事業に取り組む理由として、ルールを工夫することにより、障がいの有無に関わらず共に競いあえるインクルーシブスポーツの1つとして位置付けているところにあります。
 さて、コロナ過により活動を停止していたチームも徐々に活動を再開したとのことですが、今回は6チーム参加となりました。常連の花巻勢がいないのは寂しい気がします。大会アドバイザーのグリーンピアの佐々木浩さんと相談して6チームの総当たり戦を2回行うこととしました。1日で1チームあたり5試合、2日間で10試合という超ハードスケジュールです。会場となるパシフィックアリーナは屋内でありながらゲートボールコート8面を有する国内でも屈指の施設です。効率良く試合進行のため、3コートを使用しました。途中休憩を取りましたが6チーム休みなくゲートボール三昧の2日間となりました。

第2回派遣選手強化練習会を開催！

燃ゆる感動 がんばり大会
特別全国障害者スポーツ大会 熱い鼓動 風は南から 2023



◆期日：令和5年9月16日（土）～17日（日）
 ◆会場：ふれあいランド岩手・サンセール盛岡（盛岡市）
 ◆レポート：前回7月の強化練習に続き、特別全国障害者スポーツ大会「燃ゆる感動がしま大会」に派遣する選手の強化練習を2日間に渡り実施しました。今回のミーティングでは出発日と帰省日の行程説明と宿泊情報についてお知らせしました。今回は新幹線と飛行機による移動ですので選手数名に飛行機の搭乗経験を聞いてみたところ意外にもほとんどの方は経験があるようでした。
 ミーティング後に競技ごとに練習開始となりました。ふれあいランド岩手会場では陸上・卓球・アーチェリー・フライングディスク・ボッチャの5競技を実施。ボウリング競技はマッハランドに会場を移動しての練習となりました。なお、水泳競技はジャパンパラ水泳大会出場のため、練習日程を10月に変更しました。1日目の練習後は宿泊会場であるサンセール盛岡に移動して夕食を囲みながら選手団の交流を深めました。実際に大会に参加する際には会場が分かれてしまうため、一同に会しての交流の貴重な機会となっています。

青森・岩手合同アーチェリー練習会を開催！

- ◆期日：令和5年9月18日（月）
- ◆会場：ふれあいランド岩手（盛岡市）
- ◆レポート：2026年には第25回全国障害者スポーツ大会「青の煌めきあおもり障スポ」が開催されます。この大会に向けて青森県では選手育成強化事業を行っています。本日はその一環として青森県で強化指定を受ける選手と本県のアーチェリー選手との合同練習会を行いました。2016年の希望郷いわて大会が懐かしいです。開催にむけて青森県の国スポ・障スポの実行委員や関係者の皆さん準備は大変だと思いますが、可能な限り協力してまいりたいと思います。青森県の皆さん、がんばってください！



盛岡市身障協主催：ボッチャ交流大会に参加！

- ◆期日：令和5年9月21日（木）
- ◆会場：岩手県勤労身体障がい者体育館（盛岡市）
- ◆レポート：盛岡市身体障害者協議会の声かけにより、盛岡市内だけではなく、滝沢市、雫石町の関係団体からおおよそ40名が参加してボッチャを楽しみました。前半戦では1コートに3チームずつの総当たり戦、後半戦は同順位チームによるトーナメントを行いました。またセルフ審判制を行うことで選手自らがボールの配置をチェックするのでそれがチーム同士のかけひきとなり、結果として選手の主体性や満足度が高くなります。皆さん勝利を目指しながらもボッチャの魅力を楽しむ1日となりました。



第4回岩手県パラ陸上記録会を開催しました！



- ◆期日：令和5年9月23日（土）◆会場：日居城野陸上競技場（花巻市）
- ◆レポート：好天のもと、4回目となるパラ陸上記録会を開催いたしました。岩手陸上競技協会の協力をいただき本記録会は日本陸連の公認大会として実施しています。このためジャパンパラ陸上大会など上位大会を目指す選手にとっては地元大会で参加標準記録突破のチャンスが広がるため、競技普及につながると期待しています。競技運営におきましては花巻市陸上競技協会のご協力をいただきました。また、会場となる日居城野陸上競技場は近隣の学生にとってはほぼ無料で利用できるため、通称「陸上天国」と言われるほど多くの選手が利用しています。また今を時めく小野寺萌恵選手の練習拠点でもあり、パラスポーツ関係者も大変お世話になっている競技場です。

岩手県選手団合同結団壮行式に参加しました！



- ◆期日：令和5年9月28日（木）
- ◆会場：県民情報交流センターアイーナ・小田島組☆ほ～（盛岡市）
- ◆レポート：特別国民体育大会「燃ゆる感動かごしま国体」（以下、国体という）および特別全国障害者スポーツ大会「燃ゆる感動かごしま大会」（以下、大会という）に派遣される選手団の結団壮行式が開催されました。両選手団と関係者を含め、およそ300名が参加しました。式典では知事より選手証授与が行われ、大会選手団からは卓球競技の山田訓也選手が選手を代表して達増知事から選手証を受領しました。

会員紹介

-Our Partners-



いつもあたたかいご支援をいただきありがとうございます！

（令和6年4月1日現在 敬称略・五十音順）

正会員一覧（団体）

岩手県 ID バasketボール連盟 / (一社) 岩手県作業療法士会 / (社福) 岩手県視覚障害者福祉協会 / (社福) 岩手県社会福祉協議会 / (社福) 岩手県社会福祉事業団 / (社福) 岩手県身体障害者福祉協会 / 岩手県スポーツウエルネス吹矢協会 / (NPO) 岩手県精神保健福祉連合会 / 岩手県知的障がい者サッカー連盟 / 岩手県知的障害者ソフトボール協会いわてスマイリーズ / 岩手県特別支援学校連絡協議会 / 岩手チェアスキークラブ / (株) オイラー / (一社) コ・イノベーション研究所 / サークル「ゆうの会」 / (社福) 自立更生会 / (社福) 新生会 / 全国脊髄損傷者連合会岩手県支部 / (社福) 手をつなぐ / (株) トラスト保険 / ドルフィンズ岩手 / (株) 島山冷機工業所 / 山口北州印刷 (株) / ラッセル岩手

正会員一覧（個人）

阿部 史憲 / 伊藤 昇 / 井上 勝巳 / 井上 君之 / 今宮 正彦 / 岩淵 典仁 / 上村 弥 / 及川 貞之 / 小江 巧 / 小原 敏弘 / 軽石 義則 / 菊池 幸子 / 小坂 亜純 / 佐々木 君夫 / 佐々木 茂 / 笹木 正 / 佐藤 勝士 / 佐藤 志学 / 佐藤 慎二 / 佐藤 隆秀 / 佐藤 佑哉 / 白藤 友一 / 菅原 幸二 / 高橋 修 / 中野 正紀 / 野辺地 省吉 / 平藤 淳 / 三浦 拓朗 / 民部田 誠 / 横沢 高徳

賛助会員一覧 (団体)

アーク株式会社/株式会社アースデザインコンサルツ/株式会社アイエムアイ/株式会社アイシーエス/株式会社IBC岩手放送/株式会社アウトレジャー/株式会社青紀土木/いしどりや眼科/株式会社 一条工務店仙台/ (一社) 岩手県医師会/(一社)岩手県建設業協会/岩手県産株式会社 岩手建設工業株式会社/岩手県都市ガス協会/岩手県南運輸株式会社/(一社)岩手県理学療法士会/岩手スポーツ用品販売株式会社/いわて生活協同組合/岩手電工株式会社/岩手トヨペット株式会社/株式会社 岩手日報社/岩手リオン補聴器センター/岩手雪運株式会社/岩手リハビリテーション学院/イワフジ工業株式会社/株式会社エツリコ・エンジニアリング/株式会社エヌエスオカムラ/株式会社F Pホームサービス/株式会社遠忠/桜心警備保障株式会社/大塚製薬株式会社/岡崎建設株式会社/有限会社小沢商会/株式会社カガヤ/鎌田水産株式会社/株式会社川徳/株式会社菅文/株式会社菊地建設/株式会社キタカミデリカ/株式会社北日本銀行/北日本建機工業株式会社/株式会社久慈設計/栗原建設株式会社/グリーンピア三陸みやこ/小岩金網株式会社/株式会社公楽/株式会社小林精機/株式会社齊藤興業/株式会社佐賀組/株式会社佐武建設/株式会社佐藤興産/株式会社佐藤政行種苗/株式会社志百家/株式会社ジャスト・コンサルタント/株式会社寿広/昭栄建設株式会社/白金運輸株式会社/有限会社新栄観光バス/株式会社新興製作所/株式会社スパット北上/住田フーズ株式会社/株式会社関建設/有限会社タイガースポーツ/太平洋セメント株式会社大船渡工場/株式会社丹野組/株式会社テレビ岩手/東北エンジニアリング株式会社/東北資材工業株式会社/東北住建株式会社株式会社東北ターボ工業/東里工業株式会社/DOWA 通運株式会社/株式会社都南建設/トヨタカローラ岩手株式会社/株式会社中野製麺/株式会社日盛ハウジング/日本身体障害者団体連合会東北事業所/ネットヨタ岩手株式会社/橋爪商事株式会社/株式会社長谷川建設/東野建設工業株式会社/株式会社ヒューマンライフ/ヒラトヤ株式会社/株式会社平野組/府金製粉株式会社/株式会社藤沢体育堂/株式会社ベルジョイス/北良株式会社/株式会社マイヤ/株式会社丸江/株式会社マルノ/株式会社ミズサワセミコンダクタ/みちのくココ・コーラボトリング株式会社/株式会社三ツ星商会/南建設株式会社/宮城建設株式会社/三八五観光株式会社/名鉄観光サービス(株)盛岡支店/株式会社明和土木/盛岡商工会議所/医療法人友愛会 盛岡友愛病院/有限会社谷地林業/株式会社ヤマイチ/株式会社やよいデリライト/株式会社 ユニバース/株式会社 Yumeka/株式会社吉田測量設計/有限会社吉野電設/株式会社米澤商事/ライフセディア株式会社/株式会社リベスト/菱和建設株式会社/社会福祉法人若竹会

賛助会員一覧 (個人)

菅 里美/藤村 誠/堀川 裕二/白畑 由貴子/浅沼 秀夫/阿部 志郎/佐々木 満/村田 美幸/高橋 千恵子

バナー広告掲載中!

賛助会員のバナー広告は無料で掲載しております。現在、以下 82 団体のバナー広告を掲載中。この他、掲載依頼がありましたら随時、当協会 HP にアップいたします。詳細につきましてはお問合せ下さい。
